

## 議 事 録

1. 会議の名称	池田市文化財保護審議会 歴史文化基本構想専門部会		
2. 開催日時	平成29年12月12日（火） 午後2時00分～午後3時30分		
3. 開催場所	中央公民館 2階 会議室A		
4. 出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>〈委員〉</b> 室田卓雄会長 仙海義之委員 吉田高子委員 吉原忠雄委員</p> <p><b>〈専門委員〉</b> 井殿恵二委員（元石橋南小学校校長） 岡本尚子委員（不死王閣女将） 津田信幸委員（八坂神社宮司） 中田にぎわい戦略室室長兼空港・観光課課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>〈事務局職員〉</b> 田淵教育長 齋藤教育部部長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 中西生涯学習推進課主幹 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事</p> <p><b>〈オブザーバー〉</b> 宮前洋一氏（(株)スペースビジョン研究所代表） 宮前保子氏（(株)スペースビジョン研究所取締役所長）</p> </td> </tr> </table>	<p><b>〈委員〉</b> 室田卓雄会長 仙海義之委員 吉田高子委員 吉原忠雄委員</p> <p><b>〈専門委員〉</b> 井殿恵二委員（元石橋南小学校校長） 岡本尚子委員（不死王閣女将） 津田信幸委員（八坂神社宮司） 中田にぎわい戦略室室長兼空港・観光課課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長</p>	<p><b>〈事務局職員〉</b> 田淵教育長 齋藤教育部部長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 中西生涯学習推進課主幹 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事</p> <p><b>〈オブザーバー〉</b> 宮前洋一氏（(株)スペースビジョン研究所代表） 宮前保子氏（(株)スペースビジョン研究所取締役所長）</p>
<p><b>〈委員〉</b> 室田卓雄会長 仙海義之委員 吉田高子委員 吉原忠雄委員</p> <p><b>〈専門委員〉</b> 井殿恵二委員（元石橋南小学校校長） 岡本尚子委員（不死王閣女将） 津田信幸委員（八坂神社宮司） 中田にぎわい戦略室室長兼空港・観光課課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長</p>	<p><b>〈事務局職員〉</b> 田淵教育長 齋藤教育部部長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 中西生涯学習推進課主幹 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事</p> <p><b>〈オブザーバー〉</b> 宮前洋一氏（(株)スペースビジョン研究所代表） 宮前保子氏（(株)スペースビジョン研究所取締役所長）</p>		
5. 欠席者	印藤和寛副会長 清基英昭委員 橘高和明委員 田中歴史民俗資料館館長		
6. 議題	池田市歴史文化基本構想の充実・策定について		
7. 議事経過	別紙のとおり		
8. 公開・非公開の別 ※非公開の理由	公開		
9. 傍聴者数	0名		

## 開 会

・田淵教育長、室田会長より挨拶

## 池田市歴史文化基本構想の充実・策定について

**事務局** 昨年度策定した「歴史文化基本構想」を充実させるため、「歴史文化保存活用計画」について、前回の審議会で委員の皆様よりいただいた意見を反映させ、修正した。

**委員** 保存活用区域が「池田在郷町と郊外住宅地が融合する歴史文化保存活用区域」と変更されているが、概ね妥当だと思う。近代の発展のきっかけが鉄道の開通ならば、在郷町の時代では「街道」に加え、「猪名川の水運」が大きかったと思われるが、それらを含め、関連する文化遺産も取り込んで。

**事務局** 近世は、池田では陸上交通が主で、水運は基幹にならなかったようだ。それが池田の酒造が衰退した一因でもあるが、何か触れるべく工夫する。

**会長** 小学校の遠足で登ったりもするので、親しみを持ってもらうために、五月山のシンボルでもある日の丸展望台を入れてみては。

**委員** 阪急電鉄そのものは、文化遺産として挙げにくいかも知れないが、池田文庫の所蔵資料が、経済産業省「近代化産業遺産」で、「阪急電鉄による沿線開発関連遺産」として認定されていることは意識しておいても良いのでは。また、「保存活用計画」では、場所や施設などの有形の文化遺産がメインにリストアップされていて、無形のものが見えられていない印象を受けるが。

**オブザーバー** 昨年度策定した「歴史文化基本構想」では、「きおく」も広く含めてストーリーを作成した。文化庁の策定マニュアルにも載っているが、「基本構想」は「きおく」や無くなったものも含めてつくり、「保存活用計画」では、実際に見られる「もの」を中心につくる、という仕分けで策定することになっている。ただし、そのことについて、どこかで注釈を加えた方が良さそう。

**委員** 「衣掛けの松」を「絹掛けの松」に統一した理由は。

**事務局** 文献上で使われている「絹」の漢字を採用した。しかし、HPやパンフレット等の記載では混在している。

**委員** デジタル化や教材への活用なども実現してほしいが、これだけの事業を実現しようとすると大変だ。大変大きな構想。一歩ずつ実現にむけてやってほしい。

**委員** 池田は行政、経済、教育面での北摂の中心であるが、学校が古くからあることも、経済の発展や行政の安定のあらわれであり、重要なファクターだ。戦後、教育都市として標榜しているが、今回の「保存活用計画」に載っていないのはなぜか。

**オブザーバー** 工夫はしてみるが、「基本構想」では5つのテーマの一つ「住宅教育都市」で触れている。「保存活用計画」にも、それら5つのテーマ全てを盛り込むことも可能だが、そうすると活用・保存のための事業や施策が幅広くなりすぎるため、絞り込んでひとつずつ実現していこうということで、今回の「保存活用計画」は在郷町のテーマに絞っている。

**事務局** 本日いただいた意見を踏まえて改めて「保存活用計画」を修正し、来年2～3月開催の4回目の審議会で最終案として提示する予定。その後、そこでの意見をさらに反映させたい。昨年度策定の「基本構想」につなげた完成版として提示したい。

**閉 会**